学校番号	３１７

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版現代の世界史　（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶタテ軸として、時代の流れとつながりを感じる。
・歴史を学ぶヨコ軸として、諸地域における歴史の展開の関連性に着目する。
・歴史学習を通して、複雑化した現代世界の諸課題を解決する方法を見出していく。
・国家や民族の枠を超えて、文明という視点から、世界の中での日本のあり方を考える。

２　学習の到達目標

・様々な資料を活用し、歴史的思考力を培うとともに判断力や表現力を育成する。
・現代世界の基本的な構造とその変動について、歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に探求し、国際社会における主体的なにない手としての日本国民の責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、変化の激しい国際社会を公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できている。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料に触れ、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事項を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	出欠状況 受講状況 提出物の点検	提出物の点検 定期考査	提出物の点検 定期考査	提出物の点検 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	近代の欧米社会	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命	 ○ ○	○	○	 ○	a: 諸革命を大西洋世界における一連の政治的変動として関心をもって理解しようとしている。 b:産業革命による社会の発展と、それに伴う労働問題や公害問題の発生も考察できる。 c:産業革命における技術革新と交通革命を含めた普及の経緯を図版や地図を活用して把握できる。 d:フランス革命とナポレオン時代がその後のヨーロッパおよび世界に与えた動揺と影響を理解している。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
1学期期末		・反動と改革 ・国民国家への道 ・アメリカ大陸	 ○ 	○	 ○	 ○ 	a:ナショナリズムの高まりを地域性もふまえて意欲的に考察できている。 b: ウィーン体制下での自由主義の高まりが改革や新思想に影響を与えたことを判断できる。 c:アメリカ合衆国の領土拡大やラテンアメリカ諸国の経済的従属を地図等の資料から読み取ることができる。 d:国民国家形成が 19 世紀後半以降の日本の歴史に与えた影響を理解することができる。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
2学期中間	ヨーロッパの進出とアジア	・西アジア社会の変革 ・インド・東南アジアの植民地化 ・東アジアの変動	 ○ 	○	 ○	 ○	a:インド・東南アジアでの徹底した植民地化とそれに対する抵抗運動に高い関心をもっている。 b:西アジアが列強の保護国となる過程だけでなく、自発的な改革を試みたことも考察できている。 c:列強の侵略とそれに対抗した主体的な改革を諸資料により理解できる。 d:本格化する中国侵略の過程を理解し、日本の開国と明治維新を世界史的視野から理解できる。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査

2学期期末	帝国主義の時代	・高度資本主義と大衆社会 ・世界の分割と植民地化 ・民族運動と列強の対立	 ○	 ○ 	○ 	 ○	a:列強の進出がアジア諸国の民族的自覚を促し、様々な運動や改革につながったことを考察できる。 b:世界分割と植民地化が現代世界に及ぼした影響を公正に認識できる。 c: 大衆社会の登場に伴う新しい文化や技術を諸資料により理解できる。 d:中国の動向に連動して日露戦争から韓国併合にいたる日本をとりまく世界情勢も理解できる。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査
3学期	二つの世界大戦・大戦後の世界	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制と欧米諸国 ・民族主義の新展開 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦・ ・冷戦の時代 ・グローバル化する世界	 ○ ○	○ 	 ○	 ○ 	a: ヴェルサイユ体制の理念と現実、世界恐慌を契機とする世界秩序の動揺を意欲的に探求している。 b:第一次世界大戦およびロシア革命の原因や性格を適切に考察できる。 c:第二次世界大戦の被害の甚大さと国際連合に込められた平和への願いを資料に基づき理解できる。 d: アジア諸地域の民族運動の高揚を日本の歴史と関連づけながら意欲的に探求する。	出欠状況および受講状況の確認 質疑応答等 提出物の点検 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。